

古文「最高敬語」の識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

「最高敬語」は、天皇・中宮・上皇など**最高位の人物だけ**に使う最上級の尊敬表現です。入試では「**させたまふ**」を中心に、**二重尊敬（最高敬語）なのか、使役+尊敬なのか**を見分けさせる設問が定番です。

このドリルでは、傍線部を次の**5タイプ（ア～オ）**に分類します。

| 記号 | 種類 | 形・代表例 | 最高敬語？ |
|----|-----------|--------------------------|--------|
| ア | 二重尊敬 | せ給ふ・させ給ふ・しめ給ふ | ○ 最高敬語 |
| イ | 単体の最高敬語 | おはします・きこしめす・おぼしめす | ○ 最高敬語 |
| ウ | 使役+尊敬 | (人) に～せ給ふ／させ給ふ | × ちがう |
| エ | 二方面敬語 | 申し給ふ・聞こえ給ふ・奉り給ふ | × ちがう |
| オ | その他の普通の敬語 | 給ふ・おはす・のたまふ・申す・侍り 等 (単体) | × ちがう |

鉄則：「**せ給ふ・させ給ふ**」を見たら、まず**〈使役の対象「(人)に」があるか〉**を探す。→なければ**二重尊敬＝最高敬語（ア）**／あれば**使役+尊敬＝最高敬語ではない（ウ）**。

🎯 解き方のコツ

- 「**させ給ふ・せ給ふ・しめ給ふ**」… 使役の対象（～に）がなければ**最高敬語（ア）**。「す・さす・しむ」は使役ではなく**尊敬**で取る。
- 「**おはします・きこしめす・おぼしめす**」… 見た瞬間に**最高敬語（イ）**。語形を丸暗記するのが最強。
- 「**(人)に+～せ給ふ／させ給ふ**」… 使役+尊敬（ウ）。「家来に～させなさる」。最高敬語ではない。
- 「**申し・聞こえ・奉り・啓し・奏し+給ふ**」… 二方面敬語（エ）。前半が**謙讓語**なので、受け手にも敬意がいく。最高敬語ではない。
- 「**給ふ／おはす／のたまふ／思す**」など**単体**… 普通の尊敬語（オ）。一段ふつうの敬意。

採点表

| 部 | 問題 | 目標 |
|--------|----------|-------|
| 第1部 基礎 | Q1～Q20 | 18／20 |
| 第2部 標準 | Q21～Q50 | 24／30 |
| 第3部 応用 | Q51～Q80 | 22／30 |
| 第4部 入試 | Q81～Q100 | 14／20 |

【第1部】基礎 (Q1～Q20)

Q1. 次の傍線部「立たせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、御前に**立たせ給ふ**。 **答え：ア** **解説**：「立た（未然）＋せ（尊敬）＋給ふ（尊敬）」の二重尊敬。立つは自動詞で使役の対象がなく、最高敬語。

Q2. 次の傍線部「おはします」は、ア～オのどれか。

帝、清涼殿にお**はします**。 **答え：イ** **解説**：「おはします」は「おはす」より一段上の、単体で最高敬語の語。「いらっしゃる」。

Q3. 次の傍線部「笑ひ給ふ」は、ア～オのどれか。

大臣、いとをかすと**笑ひ給ふ**。 **答え：オ** **解説**：尊敬の補助動詞「給ふ」が単体で付くだけ。二重尊敬ではないので普通の尊敬語。

Q4. 次の傍線部「入らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、御車に入**らせ給ふ**。 **答え：ア** **解説**：「入ら（未然）＋せ（尊敬）＋給ふ」。入るは自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q5. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

帝、楽の音を**きこしめす**。 **答え：イ** **解説**：「きこしめす」は「聞く・食ふ・治む」の最高敬語

で、単体で最高敬語。

Q6. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

中納言、帝に事の由を申し給ふ。 答え：エ 解説：「申し（謙譲）＋給ふ（尊敬）」。受け手（帝）への謙譲と主体への尊敬の二方面敬語。最高敬語ではない。

Q7. 次の傍線部「渡らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、御堂に渡らせ給ふ。 答え：ア 解説：「渡ら＋せ（尊敬）＋給ふ」。移動の自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q8. 次の傍線部「おはす」は、ア～オのどれか。

姫君、こなたにおはす。 答え：オ 解説：「おはす」単体は普通の尊敬語（いらっしゃる）。「おはします」になって初めて最高敬語。

Q9. 次の傍線部「おぼしめす」は、ア～オのどれか。

帝、あはれとおぼしめす。 答え：イ 解説：「おぼしめす（思し召す）」は「思ふ」の最高敬語で、単体で最高敬語。

Q10. 次の傍線部「御覧ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、めづらしき絵を御覧ぜさせ給ふ。 答え：ア 解説：「御覧ぜ（サ変・尊敬本動詞）＋させ（尊敬）＋給ふ」。帝みづから御覧になる二重尊敬＝最高敬語。

Q11. 次の傍線部「のたまふ」は、ア～オのどれか。

大将、かくなむのたまふ。 答え：オ 解説：「のたまふ」は「言ふ」の尊敬語（単体）。普通の尊敬語で最高敬語ではない。

Q12. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

女御、帝に聞こえ給ふ。 答え：エ 解説：「聞こえ（謙譲＝申し上げる）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q13. 次の傍線部「出でさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、南殿に出でさせ給ふ。 答え：ア 解説：「出で（下二・未然）＋させ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q14. 次の傍線部「思す」は、ア～オのどれか。

大臣、心苦しと思す。 答え：オ 解説：「思す（おぼす）」単体は「思ふ」の普通の尊敬語。「思し召す」になって最高敬語。

Q15. 次の傍線部「帰らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、里に帰らせ給ふ。 答え：ア 解説：「帰ら＋せ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q16. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

姫、宮に御文を奉り給ふ。 答え：エ 解説：「奉り（謙譲＝差し上げる）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q17. 次の傍線部「聞かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、おもしろき物語を聞かせ給ふ。 答え：ア 解説：中宮みづからお聞きになる「聞か＋せ（尊敬）＋給ふ」。使役対象がなく二重尊敬＝最高敬語。

Q18. 次の傍線部「召す」は、ア～オのどれか。

大臣、人を召す。 答え：オ 解説：「召す」は「呼ぶ」等の尊敬語（単体）。普通の尊敬語で最高敬語ではない。

Q19. 次の傍線部「おはしまして」は、ア～オのどれか。

帝、行幸しておはしまして、御覧ず。 答え：イ 解説：「おはします」の連用形。単体で最高敬語。

Q20. 次の傍線部「仰せられさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、近き人々に、かく仰せられさせ給ふ。 答え：ア 解説：「仰せられ（尊敬）＋させ（尊敬）＋給ふ」の重ね。帝みづからおっしゃる二重尊敬＝最高敬語。

【第2部】標準（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「詠ませ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、女房に歌を詠ませ給ふ。 答え：ウ 解説：「女房に」という使役の対象がある。「女房に詠ませなさる」の使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q22. 次の傍線部「のぼらせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、御階をのぼらせ給ふ。 答え：ア 解説：「のぼら＋せ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q23. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

大納言、中宮に啓し給ふ。 答え：エ 解説：「啓す」は中宮・東宮へ申し上げる謙讓語。それに「給ふ」で二方面敬語。最高敬語ではない。

Q24. 次の傍線部「おぼしめして」は、ア～オのどれか。

帝、いとほしとおぼしめして、御涙を流す。 答え：イ 解説：「おぼしめす」の連用形。単体で最高敬語。

Q25. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、臣下に詔を書かせ給ふ。 答え：ウ 解説：「臣下に」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q26. 次の傍線部「下りさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、御輿より下りさせ給ふ。 答え：ア 解説：「下り（上二・未然）＋させ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q27. 次の傍線部「奏し給ふ」は、ア～オのどれか。

大臣、帝に奏し給ふ。 答え：エ 解説：「奏す」は帝へ申し上げる謙讓語。「給ふ」で二方面敬語。最高敬語ではない。

Q28. 次の傍線部「大殿籠らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、夜更けて大殿籠らせ給ふ。 答え：ア 解説：「大殿籠る（寝るの尊敬）＋せ（尊敬）＋給ふ」。二重に尊敬を重ねた最高敬語。

Q29. 次の傍線部「おはしませば」は、ア～オのどれか。

帝、御簾の内におはしませば、人々かしこまる。 答え：イ 解説：「おはします」の已然形。単体で最高敬語。

Q30. 次の傍線部「弾かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、楽人に琵琶を弾かせ給ふ。 答え：ウ 解説：「楽人に」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q31. 次の傍線部「笑はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、をかしと笑はせ給ふ。 答え：ア 解説：「笑は＋せ（尊敬）＋給ふ」。中宮みづから笑う二重尊敬＝最高敬語。

Q32. 次の傍線部「参らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

大臣、宮に御琴を参らせ給ふ。 答え：エ 解説：「参らす（謙譲＝差し上げる）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q33. 次の傍線部「きこしめさず」は、ア～オのどれか。

帝、御葉をもきこしめさず。 答え：イ 解説：「きこしめす」の未然形＋打消「ず」。「召し上がらない」。単体で最高敬語。

Q34. 次の傍線部「講ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、博士に書を講ぜさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「博士に」という使役の対象がある。「博士に講じさせなさる」の使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q35. 次の傍線部「泣かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、昔を思ひ出でて泣かせ給ふ。 答え：ア 解説：「泣か＋せ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q36. 次の傍線部「おはす」は、ア～オのどれか。

中將、ただ今こそおはすれ。 答え：オ 解説：「おはす」単体は普通の尊敬語。最高敬語は「おはします」。

Q37. 次の傍線部「仕うまつり給ふ」は、ア～オのどれか。

上達部、帝に仕うまつり給ふ。 答え：エ 解説：「仕うまつる（謙譲＝お仕えする）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q38. 次の傍線部「起きさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、夜深く起きさせ給ふ。 答え：ア 解説：「起き（上二・未然）＋させ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q39. 次の傍線部「おぼしめしけり」は、ア～オのどれか。

帝、心にくしとおぼしめしけり。 答え：イ 解説：「おぼしめす」の連用形+過去「けり」。単体で最高敬語。

Q40. 次の傍線部「調ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、医師に御薬を調ぜさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「医師に」という使役の対象がある。使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q41. 次の傍線部「隠れさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、其の年の冬、つひに隠れさせ給ふ。 答え：ア 解説：「隠れ（下二・未然）+させ（尊敬）+給ふ」。崩御を婉曲に表す二重尊敬=最高敬語。

Q42. 次の傍線部「弾かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、女に琴を弾かせ給ふ。 答え：ウ 解説：「女に」という使役の対象がある。使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q43. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

女御、帝に御消息を聞こえ給ふ。 答え：エ 解説：「聞こえ（謙讓）+給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q44. 次の傍線部「来させ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、にはかに当院に来させ給ふ。 答え：ア 解説：「来（カ変・未然「こ」）+させ（尊敬）+給ふ」。移動の自動詞で使役対象なし。二重尊敬=最高敬語。

Q45. 次の傍線部「召す」は、ア～オのどれか。

帝、笛の上手を召す。 答え：オ 解説：「召す」単体は普通の尊敬語（お呼びになる）。二重尊敬ではない。

Q46. 次の傍線部「立ち出でさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、御前に立ち出でさせ給ふ。 答え：ア 解説：「立ち出で（下二・未然）＋させ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q47. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

后、帝に御果物を奉り給ふ。 答え：エ 解説：「奉り（謙譲＝差し上げる）＋給ふ」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q48. 次の傍線部「思ひ給ふる」は、ア～オのどれか。

「うれしく思ひ給ふる」と、申す。 答え：オ 解説：連体形が「給ふる」＝下二段の「給ふ」で、謙譲・丁寧。尊敬ではないので、もちろん最高敬語ではない。

Q49. 次の傍線部「行はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、御遊びを行はせ給ふ。 答え：ア 解説：帝みづから催される「行は＋せ（尊敬）＋給ふ」。使役対象がなく二重尊敬＝最高敬語。

Q50. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

大納言、中宮に申し給ふ。 答え：エ 解説：「申し（謙譲）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

【第3部】応用（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「吹かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、みづから笛を吹かせ給ふ。 答え：ア 解説：「みづから」とあり使役の対象がない。「吹か＋せ（尊敬）＋給ふ」の二重尊敬＝最高敬語。

Q52. 次の傍線部「ともさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、女房に灯火をともさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「女房に」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q53. 次の傍線部「思ひ給へて」は、ア～オのどれか。

「あはれと思ひ給へて」と、聞こゆ。 答え：オ 解説：連用形が「給へ」で、活用は下二段（給へ／給へ／給ふ／給ふる／給ふれ）。下二段「給ふ」は謙讓・丁寧。最高敬語ではない。

Q54. 次の傍線部「おはしませず」は、ア～オのどれか。

帝、内裏にはおはしませず。 答え：イ 解説：「おはします」の未然形＋打消「ず」。単体で最高敬語。

Q55. 次の傍線部「申す」は、ア～オのどれか。

大臣、帝に物を申す。 答え：オ 解説：「申す」単体は謙讓語（言ふの謙讓）。尊敬要素がないので最高敬語ではない。

Q56. 次の傍線部「乗らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、御輿に乗らせ給ふ。 答え：ア 解説：「乗ら＋せ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q57. 次の傍線部「詠ませ給ひて」は、ア～オのどれか。

帝、人々に歌を詠ませ給ひて、優劣を定む。 答え：ウ 解説：「人々に」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q58. 次の傍線部「きこしめして」は、ア～オのどれか。

帝、雅楽をきこしめして、感ぜさせ給ふ。 答え：イ 解説：「きこしめす」の連用形。単体で最高敬語。

Q59. 次の傍線部「下ろさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、女房に御格子を下ろさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「女房に」という使役の対象がある。御格子を下ろすのは女房の役で、使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q60. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

大夫、東宮に啓し給ふ。 答え：エ 解説：「啓す」は東宮・中宮への謙讓語。「給ふ」で二方面敬語。最高敬語ではない。

Q61. 次の傍線部「思し召しければ」は、ア～オのどれか。

帝、本意なしと思し召しければ、許さず。 答え：イ 解説：「思し召す」の連用形+過去「けり」の已然形。単体で最高敬語。

Q62. 次の傍線部「御覧ず」は、ア～オのどれか。

帝、紅葉を御覧ず。 答え：オ 解説：「御覧ず」単体は「見る」の尊敬語。普通の尊敬語で、二重尊敬「御覧ぜさせ給ふ」になって最高敬語。

Q63. 次の傍線部「出家せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、つひに出家せさせ給ふ。 答え：ア 解説：「出家せ（サ変・未然）+させ（尊敬）+給ふ」。上皇みづからの出家で使役対象なし。二重尊敬=最高敬語。

Q64. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

殿、姫君に手本を書かせ給ふ。 答え：ウ 解説：「姫君に」という使役の対象がある。使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q65. 次の傍線部「さぶらふ」は、ア～オのどれか。

「ここにさぶらふ」と申す。 答え：オ 解説：「さぶらふ（候ふ）」は丁寧語（あります・おります）。尊敬要素がなく最高敬語ではない。

Q66. 次の傍線部「大殿籠りて」は、ア～オのどれか。

君、昼つ方より大殿籠りて、起きず。 答え：オ 解説：「大殿籠る」単体は「寝」の尊敬語。普通の尊敬語で、「大殿籠らせ給ふ」になって最高敬語（Q28と対比）。

Q67. 次の傍線部「流させ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、御涙を流させ給ふ。 答え：ア 解説：帝みづから涙を流す「流さ+せ（尊敬）+給ふ」。使役対象がなく二重尊敬＝最高敬語。

Q68. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

女御、帝に御琴を奉り給ふ。 答え：エ 解説：「奉り（謙讓）+給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q69. 次の傍線部「狩りせさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、男どもに鷹狩りせさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「男どもに」という使役の対象がある。使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q70. 次の傍線部「おはしましけり」は、ア～オのどれか。

昔、男、東山におはしましけり。 答え：イ 解説：「おはします」の連用形+過去「けり」。単体で最高敬語。

Q71. 次の傍線部「見給ふる」は、ア～オのどれか。

「夢にも見給ふるかな」と聞こゆ。 答え：オ 解説：連体形が「給ふる」＝下二段の「給ふ」で謙讓・丁寧。尊敬ではなく最高敬語でもない。

Q72. 次の傍線部「御覧ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、相撲を御覧ぜさせ給ふ。 答え：ア 解説：「御覧ぜ（尊敬本動詞）+させ（尊敬）+給ふ」。帝みづから御覧になる二重尊敬＝最高敬語。

Q73. 次の傍線部「参り給ふ」は、ア～オのどれか。

后、内裏に**参り給ふ**。 **答え：エ** **解説：**「参り（謙譲＝参上する）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q74. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

帝、政（まつりごと）を**きこしめす**。 **答え：イ** **解説：**「きこしめす」は「治む」の意でも単体で最高敬語。「天下をお治めになる」。

Q75. 次の傍線部「作らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、上達部に詩を**作らせ給ふ**。 **答え：ウ** **解説：**「上達部に」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q76. 次の傍線部「渡らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

法皇、御堂に**渡らせ給ふ**。 **答え：ア** **解説：**「渡ら＋せ（尊敬）＋給ふ」。移動の自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q77. 次の傍線部「申し給へば」は、ア～オのどれか。

大納言、帝に**申し給へば**、うなづく。 **答え：エ** **解説：**「申し（謙譲）＋給ふ（尊敬）」の已然形。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q78. 次の傍線部「起きさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、夜もすがら**起きさせ給ふ**。 **答え：ア** **解説：**「起き＋させ（尊敬）＋給ふ」。帝みづから起きている。使役対象なしの二重尊敬＝最高敬語。

Q79. 次の傍線部「御物語せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、昔の事を**御物語せさせ給ふ**。 **答え：ア** **解説：**「御物語せ（サ変・未然）＋させ（尊敬）＋給ふ」。帝みづから語る二重尊敬＝最高敬語。

Q80. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

大臣、帝に御消息を聞こえ給ふ。 答え：エ 解説：「聞こえ（謙譲）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

【第4部】入試（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「おぼしめす」は、ア～オのどれか。

帝、月を御覧じて、来し方をあはれにおぼしめす。 答え：イ 解説：「おぼしめす」は「思ふ」の最高敬語。単体で最高敬語。

Q82. 次の傍線部「笑はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、女房の言葉を聞いて、いとをかしと笑はせ給ふ。 答え：ア 解説：「笑はせ（尊敬）＋給ふ」。中宮みづから笑う。使役対象なしの二重尊敬＝最高敬語。

Q83. 次の傍線部「こもらせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、位を下りさせ給ひて後、御寺にこもらせ給ふ。 答え：ア 解説：「こもらせ（尊敬）＋給ふ」。自動詞で使役対象なし。二重尊敬＝最高敬語。

Q84. 次の傍線部「奏し給ふ」は、ア～オのどれか。

大臣、事の由を詳しく帝に奏し給ふ。 答え：エ 解説：「奏す」は帝への謙譲語。「給ふ」で二方面敬語。最高敬語ではない。

Q85. 次の傍線部「吹かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、楽人どもに笛を吹かせ給ふ。 答え：ウ 解説：「楽人どもに」という使役の対象がある。使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q86. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

法皇、御堂におはしまして、夜もすがら御念仏をきこしめす。 答え：イ 解説：「きこしめす」は単体で最高敬語。文頭の「おはします」も最高敬語で、二つ重なっている。

Q87. 次の傍線部「参り給ひ」は、ア～オのどれか。

女御、帝の御前に参り給ひて、御琴を弾き給ふ。 答え：エ 解説：「参り（謙譲＝参上する）＋給ひ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q88. 次の傍線部「大殿籠らせ給ひ」は、ア～オのどれか。

帝、いたく酔はせ給ひて、その夜は大殿籠らせ給ひぬ。 答え：ア 解説：「大殿籠る（寝の尊敬）＋せ（尊敬）＋給ふ」。二重尊敬の最高敬語。

Q89. 次の傍線部「討たせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、北面の武士に命じて、賊を討たせ給ふ。 答え：ウ 解説：「北面の武士に」という使役の対象がある。「武士に討たせなさる」の使役＋尊敬。最高敬語ではない。

Q90. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

中宮、御手づから、その歌を色紙に書かせ給ふ。 答え：ア 解説：「御手づから（自分の手で）」とあり使役の対象がない。中宮みづから書く二重尊敬＝最高敬語。

Q91. 次の傍線部「おはしまして」は、ア～オのどれか。

帝、御簾の内におはしまして、人々の物語をきこしめす。 答え：イ 解説：「おはします」の連用形。単体で最高敬語。

Q92. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

大納言、帝に申し給ふやう、「しかしかの事ぞ」と。 答え：エ 解説：「申し（謙譲）＋給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q93. 次の傍線部「おぼしめしけり」は、ア～オのどれか。

帝、絵を御覧じて、いみじき上手なりとおぼしめしけり。 答え：イ 解説：「おぼしめす」の連用形+過去「けり」。単体で最高敬語。

Q94. 次の傍線部「寄せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

上皇、舎人に御車を寄せさせ給ふ。 答え：ウ 解説：「舎人に」という使役の対象がある。使役+尊敬。最高敬語ではない。

Q95. 次の傍線部「起きさせ給ひ」は、ア～オのどれか。

帝、夜更くるまで起きさせ給ひて、文をぞ作らせ給ふ。 答え：ア 解説：「起き+させ（尊敬）+給ふ」。帝みづから起きている。使役対象なしの二重尊敬=最高敬語。

Q96. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

後の宮、帝に御文を聞こえ給ふ。 答え：エ 解説：「聞こえ（謙譲）+給ふ（尊敬）」。二方面敬語。最高敬語ではない。

Q97. 次の傍線部「折らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

帝、御手づから紅葉を折らせ給ふ。 答え：ア 解説：「御手づから」とあり使役の対象がない。帝みづから折る二重尊敬=最高敬語。

Q98. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

僧都、東宮に経の事を啓し給ふ。 答え：エ 解説：「啓す」は東宮への謙譲語。「給ふ」で二方面敬語。最高敬語ではない。

Q99. 次の傍線部「おはしまさで」は、ア～オのどれか。

帝、久しく内裏におはしまさで、世の人嘆く。 答え：イ 解説：「おはします」の未然形+打消接続「で」。単体で最高敬語。

Q100. 次の傍線部「譲らせ給ひ」は、ア～オのどれか。

上皇、御位を皇子に**譲らせ給ひ**て、仙洞におはします。 **答え：ア** **解説：**「皇子に」は譲位の相手で、使役の対象ではない（皇子に譲らせるのではなく、上皇みづから譲る）。「譲ら+せ（尊敬）+給ふ」の二重尊敬＝最高敬語。

採点・振り返り

| 部 | 点数 |
|-------------------|-------------|
| 第1部 基礎 (Q1～Q20) | ／20 |
| 第2部 標準 (Q21～Q50) | ／30 |
| 第3部 応用 (Q51～Q80) | ／30 |
| 第4部 入試 (Q81～Q100) | ／20 |
| 合計 | ／100 |

復習のポイント - **ア（二重尊敬）**と**ウ（使役+尊敬）**の取りちがえが最頻出のミス。「せ給ふ・させ給ふ」を見たら、「**（人）に**」という**使役の対象を探すクセ**をつけよう。なければ最高敬語、あれば使役+尊敬。 - **エ（二方面敬語）**は前半が**謙譲語**（申し・聞こえ・奉り・啓し・奏し・参り）。「給ふ」が付いても最高敬語ではない。 - 「**おはします・きこしめす・おぼしめす**」は単体で最高敬語（イ）。語形を丸暗記。 - **下二段の「給ふ**」（給へ／給ふる／給ふれ）は謙譲・丁寧で、そもそも尊敬ではない。最高敬語と無関係。